

平成27年度青森県公社等経営評価書

(平成26年度決算ベース)

法人名等				法人の自己評価(経営評価指標)	
5	青森県道路公社				
所管課名	県土整備部道路課				
決算状況 (単位:千円、%)					
出資	資本金	県出資額	県出資比率		
	8,235,500	8,235,500	100.0		
決算	前期利益	当期利益	利益剰余金		
	1,566	1,312	23,178		
資産	資産	負債	純資産		
	33,097,559	24,838,881	8,258,678		
財務分析指標				上記についての所管課の意見・評価	
自己資本比率	総資産 経常利益率	県財政関与率	総資産回転率	売上高 経常利益率	◎
24.95	2.58	21.61	5.61	45.98	【目的適合性】 交通ネットワークの早期構築による地域経済の発展を図るために、有料道路事業により早期整備と適切な管理、運営に対する大きな役割を果たしてきたと考えられる。 青森空港有料道路については、今後どのようにすべきか、社会経済情勢や今後の利用見込み、県民や利用者の意向等も踏まえながら、方針を検討していく。
販売管理費 比率	人件費比率	流動比率	借入金比率		
3.93	4.11	34.72	30.50		◎
経営評価結果					
評価区分	B:改善の余地あり				
<p><財務状況> 財務の状況については、毎期、黒字を確保していることは評価できる。また、借入金残高は依然高い水準にあるものの、20期連続での減少となっている状況にある。</p> <p><経営状況> 法人が自己評価した経営評価指標の項目については、各評価項目において、概ね妥当なもの認められる。</p> <p><改善事項等> 当法人は、「中期経営プラン(平成22年度～平成26年度)」を上回る長期借入金債務の削減を達成したことは評価するものの、今なお、100億円を超える債務残高がある。 平成26年度に新たな「中期経営プラン(平成26年度～平成30年度)」を策定し、引き続き、着実に長期債務の解消に向け取り組んでいくこととしているが、借入時の金利が高い債務も散見されることとあり、県と協議のうえ、一層の低利への借換等による金利負担の低減等、早期の債務解消に向けた各方針を検討・実施いただきたい。</p> <p>加えて、青森空港及び第二みちのく有料道路においては、料金徴収期間(償還期間)内での債務の返済は困難な状況にあり、特に、青森空港有料道路は、平成29年7月に償還期間を迎えることを踏まえると、平成28年度中に方針等を決定する必要があると考えられるところであり、県を含む関係機関等と、県全体の道路体系の中での当法人が管理する有料道路のあり方・位置付けの検証、有料道路の多面的評価(時間短縮等の経済効果)など様々な観点からの分析・検討を行い、適切に対応いただきたい。</p>					
【計画性】 経営コスト縮減及び利用者サービスの向上策等の取組により、平成22年度から26年度までの前中期経営プランでは、計画を上回る実績を挙げており、次期中期経営プランでも計画の達成が期待される。 青森空港有料道路の取扱いについては、今後、検討を進めていく。					
【組織運営の健全性】 再雇用職員等を活用しつつ適正な人員配置に努めているものの、今後の人材の育成確保も課題となることから、業務量等を踏まえた業務執行体制について引き続き検討する必要がある。					
【経営の効率性】 売上高経常利益率等の推移にみられるように、収益力が向上しており、収入増加と併せ経営コストの削減への取組効果が現れている。					
【財務状況の健全性】 多額の長期債務を抱えているものの、入札による借入先の決定や金利負担の軽減に取り組むなど、収益力の向上と債務圧縮を着実に実現しており、財務状況が改善されてきている。					